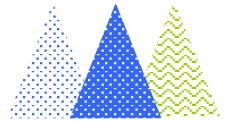




伊那ロータリークラブ



事務所 伊那市西町5016-2 TEL(72)0077 例会日 毎週木曜日 会場くぬぎの杜 TEL(78)1121
 会長 平出吉範 幹事 山崎秀亮 会報委員長 本島清隆 第3068回 例会2025.6.19 No.1698



2024-25 年度 RI テーマ

THE MAGIC OF
ROTARY

入会式

清水解体工業㈱ 専務取締役 清水 晃様
 (紹介者 唐木 拓会員)



幹事報告 山崎秀亮幹事

- 地区事務所からのお知らせです。
 - 2025-26 年度「第1回地区チーム会議」開催のご案内です。
 日時 2025 年 7 月 5 日(土) 14:00
 会場 松本商工会館
 - 松本南 RC・あづみ野 RC 会長より、先日開催されました、第32回インターアクト地区大会のお礼が参りました。
- 伊那谷アグリイノベーション推進機構より、第22回シンポジウム「伊那谷の多様な資源の活用と地域の可能性」のご案内です。
 日時 2025 年 7 月 6 日(日)13:30~
 会場 養命酒製造㈱ 講堂
 7月のプログラム
 3日(木) 初例会・新任式・総会
 ※例会終了後、クラブ協議会(年度始め)
 10日(木) 休会(規定による休会)
 17日(木) 委員会事業計画発表(伊那中央 RC 来訪)
 ※例会終了後、旧理事会(決算)
 24日(木) 休会(規定による休会)
 31日(木) 決算報告(辰野・箕輪 RC 来訪)
 ※例会終了後、理事会

☆お知らせ

- 第66年度 第1期分会費 55,000 円
 ゴルフ部年会費 12,000 円
 (部員の方)

これらを7月10日(木)銀行口座より、引落しさせていただきますので、よろしくお願い致します。

- 次回は第66期、7月3日(木)「初例会」です。
 なお、例会終了後クラブ協議会を開催致しますので、新役員・理事の方はご出席下さい。

現・次期合同理事会概要

- 第66期役員・理事委員会構成、クラブ行事予定、予算、名誉会員、中央 RC との取決め、同好会役員、慶弔規定について

委員会報告

小河節郎会長エレクトより、先日開催された「上伊那グループ第1回会長・幹事会」の報告がされた。

ニコニコボックス

- 平出吉範 山崎秀亮 1年間ありがとうございました。
- 清水 晃 よろしく願いいたします。
- 赤羽弘之 次年度の予算を発表させていただきます。
- 城取健太 最終例会にカフェタイズをご利用いただき、ありがとうございます。本日はしっかり飲んで楽しんで下さい。
- 唐木 拓 清水君、末永くお願いします。
- 菅 靖世 親睦委員でお世話になりました。次年度もよろしくお願いいたします。
- 倉沢範行 関係会社に出向することになりました。2年間ありがとうございました。

年間ラッキー賞
 小河節郎(7回)



次期予算発表

赤羽弘之次期会計より、第 66 期の予算が発表された。

退会挨拶



本田敏和会員



倉沢範行会員

役員・理事退任



会長挨拶 平出吉範会長

今日が最終例会ということで、皆様の前で挨拶することも最後となりました。

最終例会ではかつて、オーボエの演奏をした元会長、好きなビートルズを流しながら挨拶をした元会長と、皆さん趣向を凝らしての例会でしたが、今日は残念ながら何もありません。本日は少々お時間を頂いて、現在イスラエルと交戦状態にあるイランについてお話しさせていただきます。



イラン・イスラム共和国は人口 9000 万以上、首都はテヘランです。北はアルメニア、アゼルバイジャン、カスピ海を挟んでロシアとも国境を接しています。カスピ海の南にはラムサール条約で有名な世界的な水鳥の生息湿地が広がります。国内には標高 5,600M のダマーヴァンド山があり、スキー場もいくつもあります。南はペルシャ湾に面した自然豊かな国土を有しています。中東と言っても砂漠だけの国ではありません。

ペルシャの起源は紀元前 3,000 年頃の前エラム、エラムに始まり BC550 年にはキュロス大王により、アケメネス朝が開かれます。この首都であったペルセポリスは、マケドニアのアレクサンダ

一大王によって焼失してしまいましたが、壮大な遺跡はギリシャのアクロポリスを凌駕していると思います。ササーン朝以降はアラブの侵略によってイスラム化が進みます。シーア派 12 イマーム派を国教としたサファヴィー朝、首都であったイスファハンはかつてイスファハネスフェジャハーンと言われたように、世界の半分と詠われた街です。私が日本以外で唯一住みたいと思っていた美しい街です。

ペルシャは第二次世界大戦では日本、ドイツと組んだため分割衰退していきます。当時イラン原油を独占していたイギリス、アメリカの国際石油資本に対して、国民から人気のあったモサディック首相は油田の国有化を図ります。しかしイギリスと CIA の陰謀によってクーデターを起こされ失脚、代わってアメリカはパフラヴィー 2 世を擁立して独裁体制をひかせます。アメリカの傀儡政権となったパフラヴィー朝は、都市の一部特権階級の利益優先と国際石油資本への従属、アメリカからの当時最新鋭の F-4E ファントムなど、高額な兵器の売り込み等の結果、失業率の悪化と国民の支持を失い、イラン革命に至ります。

イランを訪れた当時、うちの子どもたちが「最初はグー、またまたグー、いかりや長介あたまがパー、正義が勝つとは限らない」とジャンケンをしているのをイランの友人が聞いて、「正義が勝つとは限らない」なんて、日本の子どもはこんな言葉で遊んでいるのか、と感慨深めに言っていたのが思い出されます。他国に空爆を仕掛けたり、因縁つけて他国の指導者を暗殺する力こそ正義、と考える者が勝つかもかもしれませんが、一刻も早く平和が訪れて、親日的で人情味豊かな人々の住むイランを再訪できますように祈っています。

